■　事業投資基準　（半日／4ｈ）

事業投資の成否は業績への影響が最も大きく長期間にわたります。よって、事業投資の意思決定は企業にとって最重要課題といえるでしょう。企業価値評価を向上させる手段としての事業投資の位置付けを明確に把握し、NPV・IRR・EVA など、様々な事業投資基準のメリット・デメリットについて学びます。近年 M&A 市場の主要プレイヤーとなったプライベート・エクイティの投資判断の行動様式についてもふれます。

【 講師 】　内倉　栄三　（ 元 ゴールドマン・サックス証券株式会社 投資調査部門／投資銀行部門 ）

【 日時 】　2024 年 5 月 23 日（木）　午後 1 時 00 分 ～ 午後 5 時 00 分　（ 4 時間 ）

【受講料】　32,000 円（ 税込 ）

Session 1　投資評価の手法　＜ 60 分 ＞

1. 事業会社の活動と事業投資　～　最も重要な意思決定である理由
2. 投資決定基準　～　それぞれの個別属性に応じた決め方
   - 売上・市場シェア、利益額・売上高利益率
   - ＲＯＩ（ 投下資本収益率 ）、ＣＦＲＯＩ（ キャッシュベースの投下資本収益率 ）
3. ＲＯＩのメリットとデメリット

Session 2　ＩＲＲ と ＮＰＶ　＜ 100 分 ＞

1. キャッシュフローと時間価値の重要性
2. 正味現在価値　（ ＮＰＶ ）
   - ＮＰＶによる投資の意思決定方法
3. 内部収益率　（ ＩＲＲ ）
   - 計算方法
   - ハードルレート
4. ＮＰＶ・ＩＲＲのメリット・デメリット
5. 日米企業の投資基準の相違
6. ケーススタディ　～　プロジェクト別の投資の意思決定

Session 3　投資ファンドの投資基準　＜ 60 分 ＞

1. プライベートエクイティ（P/E）ファンドの投資基準（IRR と MOM）
2. LBO・MBO のスキーム
3. 価値創造の 3 つのドライバー
4. ケーススタディー～投資ファンドのリターン推定

Session 4　EVA の活用　＜ 20 分 ＞

1. EVA のメリットと計算式の本質
2. EVA の優位性、EVA を改善する 4 つのドライバー
3. インセンティブ・プランへの応用、批判と実際の適用における検討課題